

新宮山彦ぐるーぷ第2117回

春季南奥駆道巡視点検

玉置山く21世紀の森、交差登山

◇実施日… 2021年2月28日(日)曇

◇参加者

新宮…沖崎吉信、橋本梓、児嶋道夫、濱野兼吉、大江加代子・

徳子、畑理清子、生熊千満子、倉本加代

三重県…山川治雄、高階鈴子・美根子

その他…梶野照雄(堺)、瀧本昭太郎(和歌山)、野崎肇(河内

長野)、越野智子(檀原)

玉置神社…江頭健次郎

17名

南奥駆道の本格巡視のスタートである。例年白谷トンネルの冬季通行止めがあるが、今年は加えて池郷林道の落石があつて、普通車の通過が困難な状況なので、前半は南側の巡視となる。

今回17名の皆さんから参加申し込みを頂いた。

瀧本さんは三月に膝の骨を削る手術をされるようで、しばらく山へは行けなくなるので今回が手術前の最後の山行だと参加してくださいました。野崎さんは十津川で前泊しての参加、越野さんは早朝に家を出ての参加である。また、前日には玉置神社に出仕されている江頭君からも久々に参加申し出を頂いた。

当日、9時少し前には皆さん玉置神社駐車場に集結、沖崎より組分

け、行程の説明や注意事項を伝えてそれぞれスタート地点に向かった。

逆峰班…沖崎、山川、野崎、江頭、生熊、高階2名、瀧本、越野

(9名)



21世紀の森登山口

林道に標識を設置

古屋の宿跡

逆峰班の9名は沖崎車と高階車、2台に分乗して21世紀の森登山口に向かう。R425から林道を上がって、奥駆道石柱迄車を乗り入れて歩きます。奥駆道のすぐ下、林道で登山道が分断している箇所には道標を2ヶ所設置した。

古屋の辻から順峰班に合流するまでの奥駆道は全く異常なしで、チーソー持参の山川さんの出番も無かった。

昨年、一昨年と大きな台風の襲来が無く、大雪も無かったためと思われるが、何も作業が無い事は有難い。結構なことではあるが、何か物足りなさがあつて、このレポートを書くのもネタに窮する。



如意珠岳



ユズリハの群生



町道に出る



花折塚



世界遺産石碑傍



玉置山々頂

11時30分過ぎに順峰班と合流し全員道沿いに腰を下ろして昼食とする。梶野君に車のキーを渡して玉置山迄の状況を聞けば倒木を6本処理したとのことで、後半も何もすることがなかった。玉置山々頂と玉置神社経由で駐車場に戻った。

(記：沖崎 写真：野崎)

行動タイム

玉置神社駐車場 09:00→09:25 21世紀の森登山口→09:45 古屋の辻→10:02 如意珠岳→11:33 順峰班合流 12:05→12:38 花折塚→12:30 世界遺産石碑→14:00 玉置山々頂→14:38 玉置神社駐車場

順峰班：梶野、橋本、児嶋、濱野、畑林、大江2名、倉本（8名）



朝のミーティング



山頂へ向かう



玉置山々頂

逆峰班の出発を見送り、駐車場のすぐ上から玉置山々頂を目指す。山頂は南側の木が10本ほど切られて見晴らしが良くなっていた。奥駈道に戻ってすぐ、昨年処理した倒木の突き出した部分を切除、5cm以下の斜木は濱野さんがノコで切除してくださった。40分で世界遺産石碑に着く。児嶋さんは随所にテープを巻いて、外れている道標を針金で固定した。



世界遺産石碑



供花を生け替え



小枝はノコとハサミで



枯れ倒木切除



標識を補強



花折塚では枯れていた供花を大江さん畑林さんが生け直してくださいました。男性はここまでの気配りがなかなかできない。花折塚を過ぎて枯れて倒れた木や細い斜木を切除、数年前の台風で

斜めになっていた杉の木の本が頭に当たるようになっていたので切除した。終了後「みんな来たよ」の声が聞こえて、逆峰班と合流した。



杉斜木切除



標識を補強



本日の参加者

昼食後はチェーンソーの出番は無し。アセビの小枝やイバラなどを切りながら21世紀の森へと下る。途中の林道から下る個所に倒れていた吉野と書かれた標識を杉の木に括りつけて登山口に到着。車2台に分乗して玉置神社の駐車場に戻った。

(記：梶野)

行動タイム

- 玉置神社駐車場 09:05 → 09:22 玉置山々頂 → 09:43 世界遺産石碑 → 09:52 展望台 → 10:33 花折塚 11:33 逆峰班合流 → 12:05 → 12:30 蜘蛛の口 → 13:06 古屋の辻 → 13:33 21世紀の森登山口 → 13:58 玉置神社駐車場



舂谷宮司（中央）と

全員が駐車場に戻り、解散の直前に玉置神社の舂谷宮司が挨拶に見えた。先日、25日に拙宅に表敬訪問を頂いたばかりで、重ねてのご挨拶を頂いた。

集合写真にも納まって頂き、本日の奥駈道巡視・整備に感謝のお言葉を頂いた。

玉置神社との関係も、より深まった感のある山行だった。